

学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について

令和3年7月29日時点

開催日時	開催場所・形式	名称
7月30日（金） 17：00～19：30	オンライン開催	公開シンポジウム 「日本の刑法性犯罪規定を国際人権基準に合わせるためにー日本学術会議提言から法務省検討会報告を検討するー」
8月18日（水） 13：30～17：45	オンライン開催	公開シンポジウム 「ジェンダード・イノベーション (Gendered Innovations) ～一人ひとりが主役の研究開発が新しい未来を拓く～」
8月20日（金） 14：00～17：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「第12回形態科学シンポジウム：生命科学の魅力語る高校生のための集い～分子と細胞を観る楽しさ～」
8月21日（土） 13：30～16：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「東京-Evo-リンピック～驚くべき性質や能力をもつ生き物たち～」
8月25日（火） 13：00～14：55	オンライン開催	公開シンポジウム 「サービス化する社会とサービス学の教育実装：高等教育を中心として」
8月28日（土） 13：30～16：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「ポストコロナ社会を見据えた睡眠・生活リズムのあり方～コロナ自粛から学ぶ～」
8月29日（日） 13：30～17：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「コロナ禍におけるトリアージの問題——世界の事例から日本を考察する」
9月18日（土） 13：30～16：45	オンライン開催	学術フォーラム コロナ禍を共に生きる [新型コロナウイルス感染症の最前線-what is known and unknown#2] 「新型コロナウイルス感染症の臨床的課題、対策と今後の方向性：臨床の現場を知り、何をすべきか一緒に考えましょう。」

公開シンポジウム

日本の刑法性犯罪規定を 国際人権基準に合わせるために

—日本学術会議提言から法務省検討会報告を検討する—

日本学術会議は、昨年刑法性犯罪規定についての提言を公表しました。同提言では、現在行われている改正議論が国際人権基準に合った形で行われることの必要性を明らかにしました。現在法改正は今年の5月に終了した法務省「性犯罪に関する刑事法検討会」（以下検討会）での議論を受けて、法制審議会での本格的な議論が始まるのを待っている状況にあります。そのため、下記のようにシンポジウムを実施し、不同意性交罪の導入や性交同意年齢の引上げといった検討会での重要な論点について議論することで、しかるべき刑法改正を展望しようとするものです。ご関心の皆様のご参加をお待ちしています。

2021年 **7月30日** (金) 17:00~19:30

【開催内容】 ★日本学術会議会員、☆日本学術会議連携会員

開会挨拶 南野 佳代（ジェンダー法分科会委員長、京都女子大学法学部教授・副学長）★

趣旨説明 後藤 弘子（千葉大学大学院社会科学研究院教授）☆

基調講演 性犯罪に関する刑事法検討会での議論の概要

小島 妙子（仙台弁護士会）

提言から見た検討会での議論

1 国際人権法と性暴力：谷口 洋幸（青山学院大学法学部）☆

2 暴行脅迫要件について：島岡 まな（大阪大学大学院法学研究科教授）☆

3 性交同意年齢について：矢野 恵美（琉球大学大学院法務研究科教授）☆

4 地位利用について：吉田 容子（京都弁護士会）☆

5 公訴時効等について：平山 真理（白鷗大学法学部教授）☆

質疑応答

閉会挨拶 柘植 あづみ（ジェンダー研究分科会委員長、明治学院大学教授）☆

申込方法

下記フォームからお申込み下さい

<https://forms.gle/9tBv3kAonJw3qpYw5>

※フォームにご回答の
メールアドレスへ
当日のURLが送信されます



オンライン開催

主催：日本学術会議法学委員会ジェンダー法分科会
日本学術会議社会学委員会ジェンダー研究分科会
後援：ジェンダー法学会

連絡先：後藤弘子 hirog@faculty.chiba-u.jp



ジェンダード・イノベーション

～一人ひとりが主役の研究開発が新しい未来を拓く～

*Gendered Innovations*令和3年 **8月18日** 水 | 日
13:30 | 17:45

開催趣旨:ジェンダード・イノベーション(科学や技術、政策に性差分析を取り込むことにより、新たな視点や方向性を見だし、真のイノベーションを創出する)の重要性が、今、認識されるようになってきている。研究開発や社会活動のあらゆる場面において、さまざまな視点と角度から検討し取り組むことの重要性を、社会のあらゆる立場の方々、(とくに、次代を担う若い世代の方々)と一緒に考える。

プログラム

13:30 開会挨拶

梶田 隆章(日本学術会議第三部会員・会長, 東京大学宇宙線研究所教授)
吉村 忍(日本学術会議第三部会員・部長, 東京大学副学長・大学院工学系研究科教授)
越智 光夫(日本学術会議第二部会員, 広島大学学長)

総合司会

北川 尚美
(日本学術会議第三部会員, 東北大学大学院工学研究科教授)

13:40~14:00 趣旨説明

渡辺美代子(日本学術会議連携会員・性差に基づく科学技術イノベーションの検討小分科会委員長, JST 副理事・ダイバーシティ推進室室長)

14:00~14:45 基調講演(講演30分, 質疑応答15分)

自然科学・工学におけるジェンダード・イノベーション(同時通訳)
Londa Schiebinger(スタンフォード大学ジョン・L・ハイツ科学史教授)※Zoomライブ講演予定

14:45~15:00 休憩

15:00~16:30 講演

データから見える日本の姿とその未来
相田美砂子(日本学術会議第三部会員, 中国・四国地区会議代表幹事, 広島大学特任教授・学長特命補佐(研究人材育成担当))

ジェンダーバイアスを生む心のしくみ

森永 康子(広島大学大学院人間社会科学研究科教授)

ICTが紡ぎ出すダイバーシティ推進の未来像

平川 正人(鳥根大学大学院自然科学研究科教授)

薬物有害事象の発現リスクにおける性差分析

石澤 有紀(徳島大学大学院医歯薬学研究部准教授)

性差医療の現状と今後の展望

片岡 仁美(岡山大学病院ダイバーシティ推進センター教授)

「自然体」一人間中心を追求したMX-30開発

竹内都美子(マツダ株式会社人事本部部長)

参加申込方法 オンライン開催

8月15日(日)24:00までに、下記URLまたは
右記QRコードからお願いします。https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/science_council_of_japan

16:30~16:40 休憩

16:40~17:40 パネルディスカッション ―「他人事」ではなく「自分事」に―

モデレータ 堀 利栄(日本学術会議第三部会員, 愛媛大学大学院理工学研究科教授, 副学長(ダイバーシティ担当))
パネリスト 渡辺美代子, 相田美砂子, 森永 康子, 平川 正人, 石澤 有紀, 片岡 仁美, 竹内都美子
白川 俊之(広島大学大学院人間社会科学研究科准教授)
今村 維克(岡山大学大学院自然科学研究科教授)
高山弘太郎(日本学術会議第二部会員, 豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授, 愛媛大学大学院農学研究科教授)

17:40 閉会挨拶

相田美砂子(日本学術会議第三部会員, 中国・四国地区会議代表幹事, 広島大学特任教授・学長特命補佐(研究人材育成担当))

17:45 閉会

主催:日本学術会議第三部, 日本学術会議中国・四国地区会議, 日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会, 国立大学法人広島大学

共催:国立大学法人愛媛大学, 国立大学法人岡山大学, 香川大学, 高知県立大学法人高知工科大学, 国立大学法人高知大学, 国立大学法人鳥根大学, 国立大学法人徳島大学, 国立大学法人鳥取大学, 国立大学法人鳴門教育大学, 国立大学法人山口大学, 国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム(牽引型/代表:広島大学), 四国発信!ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト(牽引型/代表:徳島大学), SAN'INダイバーシティ推進ネットワーク(牽引型/代表:鳥根大学), やまぐちダイバーシティ推進加速コンソーシアム(牽引型/代表:山口大学), SHINEプログラム(先端型/岡山大学), 未来を拓く地方協奏プラットフォーム(HIRAKU)(代表:広島大学), 地方協奏による世界トップクラスの研究者育成(HIRAKU-Global)(代表:広島大学)

後援:公益財団法人日本学術協会の協賛

[日本学術会議 第12回形態科学シンポジウム]

高校生のための集い

生命科学の魅力を語る

～分子と細胞を観る楽しさ～

参加
無料

2021. **8.20** FRI

14:00 ▶ 17:00

オンライン
イベント

申込方法

下記のサイトから事前申込が必要です。
<https://sites.google.com/keio.jp/keitaikagaku>



Programs

■ 14:00 開会あいさつ 渡辺 雅彦(北海道大学大学院医学研究院教授)

■ 14:05 講演会

講演 1

「実写版」はたらく細胞

松田 道行(京都大学大学院生命科学研究所・医学研究科教授)

司会 月田 早智子(帝京大学先端総合研究機構教授、大阪大学大学院生命機能研究科特任教授)



講演 2

半世紀の研究を振り返って

—観ることの大切さと楽しさ—

大隅 良典(東京工業大学名誉教授、2016年ノーベル生理学・医学賞受賞)

司会 西 真弓(奈良県立医科大学医学部医学科教授)



■ 16:15 パネル討論・質問会 —高校生の皆さんからどんどん質問してみよう!—

司会 仲嶋 一範(慶應義塾大学医学部教授)

パネリスト 大隅 良典(東京工業大学名誉教授)

松田 道行(京都大学大学院生命科学研究所・医学研究科教授)

渡辺 雅彦(北海道大学大学院医学研究院教授)

小林 武彦(東京大学定量生命科学研究所教授)

月田 早智子(帝京大学先端総合研究機構教授、

大阪大学大学院生命機能研究科特任教授)

西 真弓(奈良県立医科大学医学部医学科教授)

■ 16:55 閉会あいさつ 小林 武彦(東京大学定量生命科学研究所教授)

主催 日本学術会議基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同細胞生物学分科会、基礎医学委員会形態・細胞生物医学分科会

後援 日本細胞生物学会、日本解剖学会、日本顕微鏡学会、日本組織細胞化学会、日本分子生物学会、JSTグローバルサイエンスキャンパス事業

世話人 仲嶋 一範(慶應義塾大学医学部教授)

問い合わせ先 admin_nakajimalab-group@keio.jp

日本進化学会第23回東京大会公開シンポジウム

東京-Evo-リンピック ～驚くべき性質や能力を 持つ生き物たち～

令和3年8月21日(土) 13:30～16:00 オンライン開催

自然界には驚くような性質や能力をもつ、あるいは極限環境にも生息できる生き物があります。これらの性質もすべて進化の過程で獲得されたものです。本公開シンポジウムでは、このような驚くべき生物を最新の知見と共に紹介します。

國枝 武和 (東京大学大学院理学研究科 教授)

「放射線も平気!? 極限環境に耐える動物クマムシ」

村上 哲明 (東京都立大学理学研究科 教授)

「シダは弱い生き物ではない～極限環境に生えるシダ植物の独立配偶体」

沓掛 磨也子 (産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門 研究グループ長)

「アブラムシも弱くない ～仲間を守る兵隊アブラムシの知られざる行動と生物機能～」

石川 麻乃 (東京大学新領域創成科学研究科 准教授)

「海から淡水域へ大進出! トゲウオの能力とそのしくみ」

山岸 明彦 (東京薬科大学生命科学部 名誉教授)

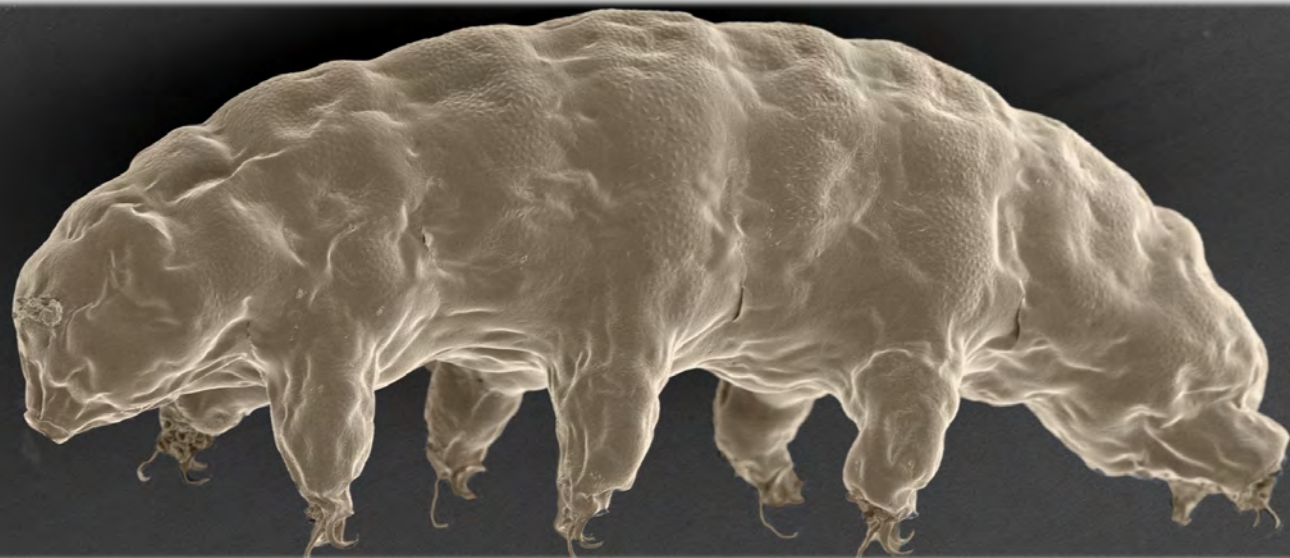
「地上12kmに存在する微生物と、微生物の宇宙での生存」

大会ウェブサイト



<https://evolgen.biol.se.tmu.ac.jp/sesj2021/>

参加費無料 オンラインでの視聴・申込方法については大会ウェブサイトに掲示いたします



主催: 日本学術会議基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同・進化学分科会 日本進化学会 共催: 東京都立大学

日本学術会議 公開シンポジウム

サービス化する社会と サービス学の教育実装 ：高等教育を中心として

主催： 第3部 総合工学委員会・第1部 経営学委員会・サービス学分科会
後援： 横断型基幹科学技術研究団体連合、経営関連学会協議会、サービス学会(予定)、
サービス産業生産性協議会(予定)、日本規格協会、日本経営システム学会(予定)、
日本生産性本部(予定)、日本品質管理学会、IEEE TEMS

日時： 令和3年**8月25日**(水)13:00~14:55

場所： **オンライン開催** *申込後にURLをご連絡

申込： http://ja.serviceology.org/events/scj_symposium2021.html

*お申込み後にオンライン会議アドレス等が通知されます。

13:00
?
13:10

開会の挨拶および全体趣旨説明

西尾 チヅル (日本学術会議会員/経営学委員会委員長 筑波大学ビジネスサイエンス系教授)

13:10
?
13:20

サービス学の理論基盤

村松 潤一 (日本学術会議連携会員 岡山理科大学経営学部教授)

13:20
?
13:30

サービス学の教育方法

山本 昭二 (日本学術会議連携会員 関西学院大学大学院経営戦略研究科教授)

13:30
?
13:35

休憩

サービス学の教育実装に関する総合討論

13:35
?
14:40

司会：山本 昭二 (日本学術会議連携会員 関西学院大学大学院経営戦略研究科教授)
パネラー：瀧 俊雄 (株式会社マネーフォワード Fintech研究所長/取締役執行役員)
原 良憲 (日本学術会議連携会員 京都大学経営管理大学院教授)
村松 潤一 (日本学術会議連携会員 岡山理科大学経営学部教授)
吉瀬 章子 (日本学術会議連携会員 筑波大学システム情報系教授)、他

14:40
?
14:55

閉会の挨拶

浅野大介 (経済産業省サービス政策課 課長)



日本学術会議
SCIENCE COUNCIL OF JAPAN

ポストコロナ社会を見据えた 睡眠・生活リズムのあり方

～コロナ自粛から学ぶ～

令和3年

8月28日 土

13:30 ▶ 16:00

オンライン開催

開催の詳細については
右記サイトから
ご確認ください



PROGRAM

(司会) 三島和夫 (日本学術会議連携会員・秋田大学大学院医学系研究科教授)

13:30 開会の挨拶
深田吉孝 (日本学術会議第二部会員・日本時間生物学会理事長・東京大学大学院医学系研究科特任研究員)

講演

13:40 リモート社会と体のリズム
本間さと (日本学術会議連携会員・札幌花園病院 睡眠医療センター長)

14:05 幼児を対象とする双方向性睡眠啓発アプリの社会実装の経験から
谷池雅子 (大阪大学 連合小児発達学研究科教授)

14:30 一般生活者の生活リズムの変容について
駒田陽子 (明治薬科大学 リベラルアーツ 准教授)

14:55 ～ 休憩 (10分)

15:05 働き方に及ぼした光と影について
高橋正也 (労働安全衛生総合研究所 過労死等防止調査研究センター長)

指定発言

15:30 社会における睡眠・生活リズムの変化に対し睡眠医療が果たすべき役割
内山 真 (日本睡眠学会理事長、東京足立病院院長)

15:35 今後の研究で求められること - 基礎研究の側面から -
吉村崇 (日本学術会議連携会員・名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所教授)

まとめ

15:40 シンポジウムの総括
三島和夫 (日本学術会議連携会員・秋田大学大学院医学系研究科教授)

15:50 閉会の挨拶
尾崎紀夫 (日本学術会議会員第二部会幹事・名古屋大学大学院医学系研究科教授)

事前質問は
こちらから



問い合わせ先： 公開シンポジウム「ポストコロナの睡眠・生活リズム」事務局
E-mail: kokoro-res@med.akita-u.ac.jp

主催：日本学術会議 基礎生物学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会・心理学・教育学委員会合同 生物リズム分科会
共催：日本時間生物学会・日本睡眠学会

コロナ禍におけるトリアージの問題

——世界の事例から日本を考察する

<プログラム>

司会 香川知晶（日本学術会議連携会員、山梨大学名誉教授）

13:30- 開会挨拶 土井健司（日本学術会議連携会員、関西学院大学神学部教授）

13:40-
コロナ・トリアージをめぐるイタリアとドイツ

加藤泰史 日本学術会議連携会員
椋山女学園大学国際コミュニケーション学部教授

14:10-
COVID-19 下の医療逼迫時におけるトリアージと患者の人権：
イギリス、フランスおよび欧州人権機関の対応

建石真公子 日本学術会議連携会員、法政大学法学部教授

14:40-
台湾における集中治療のトリアージについて

鍾宜錚 大谷大学真宗総合研究所東京分室 P D 研究員

15:10-
COVID-19 パンデミックにおける
『トリアージ』をめぐる日本での議論

竹下啓 東海大学医学部教授

15:50- 質疑・討論

16:50- 閉会挨拶 田坂さつき（日本学術会議連携会員、立正大学文学部教授）

2021年8月29日（日） 13:30-17:00

オンライン開催 参加費無料

申込：<https://forms.gle/canf2BYb4U2x4G6U7>

定員：100名 ※定員になり次第締切となります。



主催：日本学術会議哲学委員会いのちと心を考える分科会

共催：日本生命倫理学会（基礎理論部会）

文部科学省科学研究費「尊厳概念のグローバルスタンダードの構築にむけた理論的、概念的・比較文化論的研究」

お問合せ先：土井健司 b05-kiso@ja-bioethics.jp

新型コロナウイルス感染症の 臨床的課題、対策と今後の方向性

臨床の現場を知り、何をすべきか一緒に考えましょう。

2021年9月18日(土) 13:30~16:45



新型コロナウイルスワクチンの一般国民への接種が始まろうとしています。本学術フォーラムでは、専門家の先生にお願いして、現在までに得られている科学的知見を一般市民に分かりやすくお話しいただくとともに、ワクチン開発の現状と問題なども市民とともに共有したいと考え、日本学術会議と日本医学会連合が共同で企画し、開催するものです。なお、本学術フォーラムは、日本学術会議第二部執行部が中心となって企画する学術フォーラムシリーズ「新型コロナウイルス感染症の最前線 - what is known and unknown」の一つです。

主催：日本学術会議、日本医学会連合

後援：日本生命科学アカデミー

参加フォーム：<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>



司会：名越澄子・北川雄光(日本学術会議第二部会員兼日本医学会連合理事)
 挨拶：梶田隆章(日本学術会議会長) 門田守人(日本医学会連合会長)

「新型コロナウイルスが引き起こす呼吸器感染症」

大曲貴夫(国立国際医療研究センター国際感染症センター長)

「新型コロナウイルスと妊娠・出産について」

山田秀人(日本産婦人科感染症学会理事・手福溪仁会病院不育症センター長)

「新型コロナウイルス感染症が高齢者にもたらしたもの」

岩田充永(藤田医科大学救急医学・総合内科教授)

「新型コロナウイルス感染症が引き起こす脳とこころの問題」

尾崎紀夫(日本学術会議第二部会員)

まとめ：飯野正光(医学会連合副会長)

閉会の挨拶：武田洋幸(日本学術会議第二部部長)